



Gスクエア センター長

函館市地域交流まちづくりセンター
センター長

仙石智義 丸藤 競

仙石智義 [プロフィール]

1982年函館市生まれ。

公立はこだて未来大学卒業後、グラフィックデザインの仕事をを経て29歳で函館市青年センターのセンター長に就任。本年4月より現職。NPO法人函館市青年サークル協議会事務局長も務める。

【聞き手】函館市地域交流まちづくりセンター
センター長 丸藤 競

今回は、4月22日にシエスタハコダテ4階にオープンした、函館コミュニティプラザ Gスクエアのセンター長仙石さんに、施設の紹介をしていただきました。

対談

丸藤 オープンして半年が過ぎようとしていますが、どうでしたか？

仙石 4月22日の土曜日にオープンしましたが、今日まであっという間でした。まったく新しい施設ですし、商業ビルの中に入れてさせていただいているので、多くの方との連携が必要です。前例がない中でつくりあげてきて、気がついたら半年という感じですね。

丸藤 たくさんの方に利用していただいていますね。

仙石 オープン当初はスタッフも慣れておらず、利用者の皆様にもずいぶんご不便をおかけしてしまったこともあります。でも、毎日たくさんの方の高校生をはじめとする皆様に利用していただき、力をいただいています。

丸藤 Gスクエアは、どんな施設なんですか？

仙石 函館の中心市街地活性化と若い人達の自主性を引き出す場。というのが大きな柱となっています。まずは若い人たちにふらっと入っていただけるような居場所になることで、人が集まり活気が出ます。さらに、集まった若者に、夢を叶えることができるんだよ

特集

はこまち対談

「若者の「夢」を叶えたい」



とついでとを伝えることで、自主性を引き出していく…とついでを理想としていきます。

丸藤 夢が叶えられるとついでとついでさらに若者が集まり、集まることで叶えられる夢も多くなり、また人が集まる…とついで良い循環ができると思いますね。

仙石 趣味の延長としての活動の場は既にありますが、起業家などのように経済活動と結びつくような夢も支援する施設は少ないと思います。同じビルに入っている無印良品さんなども連携できることも、大きな要素だと思います。

丸藤 どんな方が利用していただけますか？

仙石 午前中は買い物に来たご年配の方が多いです。ゆつくり休んでもらったりしています。午後になると、学校帰りの高校生が中心になります。友達とおしゃべりしたり、勉強したり。自由に使っていたいです。テスト期間中などは、凄くことになってますよ(笑)だいたい毎日、6000〜7000人くらいにご利用いただいています。

丸藤 貸し切りのイベントでも使えますですね。

仙石 ホールを区切って使うこともできるので、スタッフに相談してみてください。

丸藤 プロジェクトとついで企画があり

ますね。

仙石 その道のエキスパートの方に講師になっていただき、高校生などと考えていく場となっています。今はこちらが用意した5つのプロジェクトを実施していますが、将来的には高校生や大学生側から出てきた希望に添えて新しいプロジェクトが生まれ、そこになっていく…とついでな形になっていければ理想ですね。

丸藤 色んな分野で活躍してくれる人が出てくると思います。

仙石 まだまだこれからですが、可能性は高いと思います。

丸藤 気軽に集まれる居場所があり、その中に夢もあるとついでのは素晴らしいですね。

仙石 GスクエアのマークはGを扉にみたく、気軽に扉を開けて来てもらいたい。それは、夢の扉にもなっているよ、という意味を込めています。防音になっている部屋や、キッチンスペース、会議などの催し物として使う場合には予約が必要ですが、基本的にふらっと来ていただけます。無料で使える場所がたくさんありますし、まずは来ていただくたいですね。

丸藤 お洒落な空間ですからね。

仙石 落ち着いた感じですし、窓からの眺めもいいですよ。開かれた空間になっています。

丸藤 木製の素敵な棚には、絵本が置いてありますね。

仙石 地域で眠っている絵本を循環させましょついで無印良品さんの企画と連携しています。オススメスポットのコーナーも連携しています。

丸藤 若いスタッフが多いですね。

仙石 利用者の皆さまとの会話を大切にしています。コーチングなどのスキルも取り入れ、例えば高校生の可能性をのばすようなコミュニケーションをとっていききたいですね。

存在を否定しないとか、誰もが一人の人間として必要とされているということが若い人に伝わるようにしていきたいと思っています。

丸藤 GLAYコーナーは、ファンはもちろん全国的にも有名なスポットですね。

仙石 レリーフと、からくり時計があります。毎正時には、時計の前にたくさんの方が集まりますよ。GLAYのように、ここに来てくれる皆さんには夢を叶えてもらいたいですね。

丸藤 未来のGスクエアを、どんな場所にしていきたいですか？

仙石 若い人たちがここを拠点にして何かを発信していくとか、まちと一緒になにかをしたいとか、ムーブメントを起こしていきたいですね。お店や会社を設立するなどの経済活動にもつなげていきたいですし、ものづくりの応援

もしたいです。

丸藤 Gスクエア発の「函館と言えよ」とついでヒット商品が生まれるといいですね。

仙石 今の若い人達は常に社会と接していたという気持ちは強いですが、社会に敏感でいろんなことを考えています。だから、可能性は高いと信じています。どこか他のまちに行ってしまう若者も多いとは思いますが、Gスクエアでの経験を活かして、さらに大きくなくて函館に戻ってきてもらって、今度はGスクエアのエキスパートとして活躍するようになってもらえたら嬉しいですね。

丸藤 期待できますか？

仙石 もちろん。私達より、ずっと可能性を持っていますから(笑)

函館コミュニティプラザ

Gスクエア

HAKODATE COMMUNITY PLAZA GSQUARE

函館コミュニティプラザ(愛称:Gスクエア)
 函館市本町24番1号 シエスタハコダテ4階
 開館時間:9時30分~21時30分 休館日:1月1日
<http://g-sq.jp/>
 お問い合わせ
 電話:0138-35-4000 E-Mail:info@g-sq.jp